

Claude 3.7 Sonnet

ソフトバンクの AI 進化の 8 段階について調査し、OpenAI o3 の位置づけと今後の展望についてお答えします。最新の情報を確認するためにウェブ検索を行います。

ソフトバンクの孫正義氏が提唱する AI 進化の 8 段階について調査結果をまとめ、OpenAI o3 の位置づけとレベル 4 到達の予測について解説します。

ソフトバンクによる AI 進化の 8 段階

孫正義氏は「SoftBank World 2024」の特別講演で、AI の進化を 8 段階に分類しました。これは従来の 5 段階の AGI(汎用人工知能)に加え、ASI(人工超知能)の 3 段階を追加したものです。

1. レベル 1: 人間とほぼ同等の一般的な会話が可能な AI (ChatGPT-4o、知能指数 80)
2. レベル 2: 複数の科目で博士号レベルの知識を持つ AI (OpenAI o1、知能指数 120)
3. レベル 3: エージェント機能を持ち、人間の代わりにタスクを実行する AI
4. レベル 4: AI 自体が新しい発明を生み出す AI
5. レベル 5: 組織的に活動し、仕事を遂行する AI

そして、レベル 5 を超える ASI(人工超知能)の世界として、以下の段階を提示しています：

6. レベル 6: 感情を理解し、長期記憶を持つ AI
7. レベル 7: 自ら意思を持ち、人類の幸せを目指す AI
8. レベル 8: 調和の取れた超知性

孫氏は 2023 年の SoftBank World では「AGI は 10 年以内に来る」と予測していましたが、2024 年の SoftBank World では「AGI の達成時期は 2～3 年後」と予測を前倒ししています。さらに、AGI のレベル 5 を超える世界としての ASI(超知性)については「10 年以内に来る」と述べています。

OpenAI o3 のレベル評価

OpenAI o3 は最新の AI モデルで、その特性を調査したところ、以下のような特徴を持っています：

OpenAI o3 は、フルツールアクセスとエージェント能力を持ち、Web 検索、Python によるデータ分析やファイル操作、画像生成といった複数のツールを「いつ」「どのように」使うべきかを自ら推論してタスクを実行できます。

o3 は数学や科学的推論、プログラミングの能力を大幅に向上させており、従来のモデルが解けなかった問題を解決する能力を持っています。たとえば、AGI ベンチマークテストである ARC-AGI で 87.5%という人間の平均スコア(85%)を上回る結果を示しています。

これらの特徴から考えると、OpenAI o3 はレベル 3「エージェント機能を持ち、人間の代わりにタスクを実行する AI」に該当すると考えられます。まさにエージェントとして機能し、人間の代わりに複数のツールを組み合わせるタスクを遂行する能力を持っているためです。

レベル 4 到達の時期予測

レベル 4「自ら新しい発明を生み出す AI」の到達時期については、以下の情報が参考になります：

孫正義氏は AGI(汎用人工知能)が 2～3 年で実現すると予測しています。また、AI の 5 段階の進化において、レベル 4 では AI 自体が発明を行うとされています。

現在の AI モデルの急速な進化の速度を考慮すると、レベル 3 からレベル 4 への進化は近い将来に起こる可能性があります。孫氏は OpenAI o1 について「ノーベル賞レベルの技術」と評価しており、AI モデルの進化速度が加速していることを示唆しています。

また、孫氏は「AI の考える力が初めて身についた」と評価しており、これはレベル 4 に向けた重要なステップと考えられます。

以上の情報から、レベル 4「自ら新しい発明を生み出す AI」の到達時期は、孫氏の予測に基づけば 2026-2027 年頃(現在から 1-2 年以内)と考えられます。ただし、これはあくまで孫氏の予測に基づくものであり、実際の技術進歩は予測より早まることも遅れることもあり得ます。

まとめ

1. OpenAI o3 は現在、孫正義氏の定義する AI の進化段階において「レベル 3: エージェント機能を持ち、人間の代わりにタスクを実行する AI」に該当すると考えられます。
2. 「レベル 4: 自ら新しい発明を生み出す AI」に到達する時期は、孫氏の予測に基づくと 2026-2027 年頃(1-2 年以内)と考えられますが、これは技術進歩の予測であり確定的なものではありません。
3. 孫氏は最終的に ASI(人工超知能)が 10 年以内、つまり 2034 年頃までに実現すると予測しています。